

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	母子生活支援施設入所委託事業	所管	保健福祉部 子ども支援課
			TEL 2998-9124

事業の目的 (何の為に 行うか)	母子家庭の母と子に施設を利用(入居)させ、各種相談に応じ、自立を支援する。
------------------------	---------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	監護すべき児童の福祉に欠ける母子家庭の母と子。	対象とした数	1	人
		実際に 利用した数	1	人

活動の内容	(何を したか)	<p>経済面等により子どもの保育に著しく欠けるなどの理由により、母子生活支援施設における保護が必要であると認められた場合、実施を希望する保護者からの申請に基づき、母子生活支援施設に委託して母子保護を実施する。 DV被害にあった母子がシェルター等の保護施設を退所する際に、住居や仕事などの自立に向けた基盤が確保できるまで保護を行うなどの場合に実施することが主である。</p>							
活動実績	項目名	委託件数	1	項目名		項目名		項目名	
			----- 単位 世帯				----- 単位		----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	735	2,133	3,072	9.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	受託件数	実績件数÷目標値	1	1	100.0
			----- 単位	----- 単位	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040500	TEL	2998-9124		
事業コード	母子生活支援施設入所委託事業							
040516								
開始年度		昭和	22	年度	—	終了年度	平成	年度
グループ		相談・援助担当						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			児童福祉法				
	関連・類似事業								
	総体計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	2 子育て家庭への支援	小柱	(2)ひとり親家庭や障害児をもつ家庭への支援の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ…			H19 *** H20 ***			
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		コード		コード		コード		コード	
事業開始の背景		児童福祉法制定(昭和22年度)に伴い開始された。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	母子家庭の母と子に施設を利用(入居)させ、各種相談に応じ、自立を支援する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	監護すべき児童の福祉に欠ける母子家庭の母と子。					利用世帯の数				
	対象数	単位	平成 18 年度	0	人	利用数	単位	平成 18 年度	0	人
		平成 19 年度	1	人			平成 19 年度	1	人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
経済面等により子どもの保育に著しく欠けるなどの理由により、母子生活支援施設における保護が必要であると認められた場合、実施を希望する保護者からの申請に基づき、母子生活支援施設に委託して母子保護を実施する。 DV被害にあった母子がシェルター等の保護施設を退所する際に、住居や仕事などの自立に向けた基盤が確保できるまで保護を行うなどの場合に実施することが主である。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点 当事業の対象とすることが適切であるか、十分に検討したうえで適正な執行を徹底した。									

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		699	735	1,751
	決算(見込み含む)		0	2,133	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費	人	0	0.10 人	939
	公債費				
	事業費合計		0	3,072	
	財源内訳	一般財源	0	3,072	1,751
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			0.0	9.1	
利用数一単位あたり(単位:円)		#DIV/0!		3,072,400.0	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	委託件数	実績	単位	世帯	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績					0	1	1	
	成果分析	受託件数	実績件数÷目標値			目標値	1	1	1
						実績	0	1	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
		%	達成率	****		100.0			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性		
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
	明らかとなった課題	母子家庭は経済的に困窮する事例が多いため、母子自立支援相談及び事業等と合わせて、良好な家庭生活を確保できるよう支援を行っている。					
⑧二次評価	評価項目	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)			
	平成20年度における目標設定	適正な判定の徹底	検討を要する全件	年度内			
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	事業内容から、制度周知等によって市民への浸透を図るものではないと考えられる。緊急性が求められる事業であるため、今後も随時対応できる体制と予算額の確保をしておく必要がある。					
評価日	平成20年6月6日	記入者職氏名	子ども支援課 黒澤潤子				

⑨個別計画における方向性	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了		
	年度内優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
優先度評価	優先度	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業		
評価理由	評価日					

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
⑪個別計画における方向性	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます	
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援	
	施策の方向	4ひとり親家庭への支援の推進	